

けい 子宮頸がんについてのQ&A

子宮体がんとう子官頸がんの違いは何ですか？

子宮がんは2種類あります。

- 1.子宮の奥の方にできるのが → **子宮体がん**
- 2.子宮の出口、子宮頸部の粘膜にできるのが → **子宮頸がん**

この2つは発生する場所だけでなく、原因、がん細胞の形、発生しやすい年齢なども大きく異なります。子宮頸がんは検診をすることで予防や早期発見が可能です。

子宮頸がんの原因は何ですか？

子宮頸がんの原因は、性行為で感染するヒトパピローマウイルス(HPV)といわれています。また、頸がんの症状はほとんどなく、進行していきますと段階的に不正性器出血や性行為の時などに接触出血があります。

ヒトパピローマウイルス(HPV)とはどのようなウイルスなのですか？

HPVは、現在100種類以上が発見されていますが、そのうち40種類あまりが女性の性器で病気を引き起こすことが明らかにされてきました。性器やその周辺部にイボを発生させ、がんを発生させることはほとんどない種類もありますが、一部のHPVはがんにつながる種類でハイリスクHPVと呼ばれ、15種類くらいあります。

ハイリスク HPV に感染した女性は皆、子宮頸がんになるのでしょうか？

性交経験者のおよそ60%は少なくとも1度はHPVに感染したことがあるといわれています。ハイリスクHPVに感染しても大部分の感染は一時的なもので、免疫力により自然消失しますが、5~10%程度の割合でHPVが消失せずに持続感染することがあります。この場合は、数年から10数年の前がん病変の期間を経て、子宮頸がんになる可能性があります。

感染した人のうち、がんを発症するのは0.1~0.3%といわれており、現在、年間約2,900人の方が子宮頸がんによって亡くなっています。

◆年間死亡者数	2,902人 (平成26年人口動態統計)
◆年間罹患患者数	32,519人 (上皮内がんを含む)
	※2012年 地域がん登録全国推計によるがん罹患データ
◆がん検診受診率	42.1% (過去2年間に受診した者)
	32.7% (過去1年間に受診した者)
	※いずれも平成25年国民生活基礎調査

子宮頸がん予防啓発プロジェクト HelloSmile (ハロースマイル)

～あなたとあなたの大切な人の笑顔のために～

みんなは「子宮頸がん」って知っている？

今、20代、30代の女性では
一番多いがんの

「自分には関係ない」って思わないで
検診に行ってほしいな

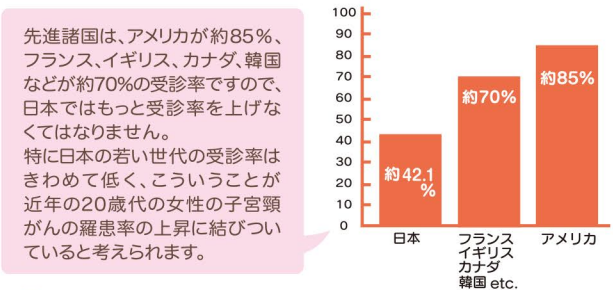
あなたの大事なからだ・・・守ってあげてね



けい 子宮頸がんについてのQ&A

日本の女性は子宮頸がん検診をきちんと受けているのでしょうか？

残念ながら、日本女性のうち42.1%の人しか子宮頸がん検診を受けていません。



予防するためにはどのようなことをすればよいのですか？

発がんするまでに数年から10数年ありますので、この間に子宮頸がん検診を受けていれば、早期発見、早期治療が可能となるため、定期的に受診することが大切です。

検診は痛いのですか？

ほとんど痛みはありません。子宮頸がん検診は、細胞診といって、子宮頸部をこすって細胞を採取し、顕微鏡で検査するものです。

検診っていくらぐらいかかるの？

子宮頸がん検診を受診する方法は様々で、金額も異なります。

【自治体実施している住民検診】

保健所や自治体が指定した医療機関で受診する必要があり、対象となる年齢、実施時期にも制限はありますが、自治体からの補助があるため、比較的安く受診することができます。費用は自治体によって異なります。(0円のところもありますが、1,000~2,000円程度の範囲内です。)

検診は1回受けたら、今後は検診を受けなくても大丈夫？

検診の結果が「異常なし」であったとしても、原因となるHPVにすでに感染していたり、検診後に新たに感染してしまった場合、将来的に子宮頸がんが引き起こされる可能性はゼロではありません。検診で異常が発見されなかった場合でも、少なくとも2年に1度は検診を受けることが大切です。